

【NEWS RELEASE】

2019年9月24日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

責任銀行原則への署名について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱し9月22日に発足した「責任銀行原則（PRB：Principles for Responsible Banking）」に署名致しました。

責任銀行原則は、銀行に対し持続可能な社会の実現に寄与する事業活動を促すものです。署名銀行は今後、UNEP FI や署名機関との協議及びお客さまとの対話を通じ、自社の事業による環境や社会への影響を認識し、ポジティブな影響の拡大や負荷の低減に向けた自主目標を掲げることが求められます。このためには、お客さまの財務情報に加え、ESG（ ）に関する情報を含む非財務情報の活用が求められます。

これまでも SMBC グループは、ESG を含む非財務情報の重要性が今後増していくことを認識し、ESG 情報の活用にいち早く取り組んでまいりました。

具体的には、子会社である株式会社日本総合研究所（以下「JRI」）において、上場企業の ESG 情報を収集、分析し、機関投資家へ提供してきました。さらに7月よりベンチャー企業と協働し AI を活用した ESG 情報のネット上の収集作業と、文章抽出作業を効率的に実施できるようになりました。これにより、収集する ESG 情報の更なる充実を図っていきます。これらの ESG 情報は PRB で求められる取組にも資するものと考えられます。

また JRI と SMBC グループでは、JRI が収集した ESG 情報を活用し、ESG 情報と企業のその他の情報の関連性に関する実証実験を行い、更なる ESG 情報分析の高度化を進めていきます。

SMBC グループは、今後も ESG/SDGs、サステナビリティの普及において日本をリードし、社会全体の持続的な発展と企業価値向上に取り組んでまいります。

以 上

（ ）ESG とは、環境：Environment、社会：Social、企業統治・ガバナンス：Governance の頭文字をとったものです。ESG に関する情報としては、例えば、環境に関しては企業活動における CO2 換算排出量、社会に関してはダイバーシティへの取組、ガバナンスに関しては、取締役会における社外取締役の割合、等があげられます。